

新千歳空港を利用する場合

JR 利用
新千歳空港 → 札幌駅 (約 37 分)

車利用
新千歳空港 → 札幌市内 (約 1 時間)
※高速道路経由で約 50 km

車を利用する場合

一般道路
札幌市 → 羽幌町 (約 179km、約 3 時間 35 分)
旭川市 → 羽幌町 (約 125km、約 2 時間 30 分)
稚内市 → 羽幌町 (約 132km、約 2 時間 15 分)

高速道路
札幌市 → 羽幌町 (約 198km、約 3 時間)
旭川市 → 羽幌町 (約 137km、約 2 時間 15 分)

バスを利用する場合 (札幌市～羽幌町)

沿岸バス「特急はぽろ号」
札幌駅前(北5条西1丁目／32のりば)
→ 本社ターミナル(羽幌町)
(約 3 時間 10 分)
※高速経由便が 1 日 4 往復しています。

羽幌港から天売高校までの アクセス

フェリー「おろろん2」
羽幌港 → 天売港 (約 1 時間 45 分)
高速船「さんらいなあ2」
羽幌港 → 天売港 (約 60 分)
※高速船の運航は、4 月、GW 期間、6 月～8 月
天売港で下船後、天売高校まで徒歩 (約 20 分)



天高

羽幌町立北海道天売高等学校

〒078-3954 北海道苫前郡羽幌町大字天売字前浜 100 番地
TEL 01648-3-5144 / FAX 01648-3-9988 / ✉ teuri-hs@hokkaido-c.ed.jp
<http://www.teuri.ed.jp>

ホームページも
見てね！



Hokkaido Teuri High School Guide 2025

羽幌町立北海道天売高等学校



新年度 生徒募集!!



校長メッセージ

本校は、海鳥と人が共存する天売島に設置されています。昭和29年に地域の熱い期待をうけて開校した歴史と伝統のある定時制課程の普通科高等学校です。これまで400名を超える卒業生が島内はもとより全国で活躍しています。

校訓「克己」のもと、学校教育目標「社会や地域の期待に応え、天売でしかできない教育の実践と社会に自立し共生できる人を育む」を掲げ、特色ある教育活動を展開しています。

天売島で新しい自分を発見し、自己実現を果たしませんか。自然豊かな「海鳥の楽園」で、全校生徒・教職員一同、そして島民の皆さんがお待ちしております。

目次

天売高校の年間行事	3
修学スタイル	5
特色ある教育活動	6
クラブ活動	7
発表大会・ボランティア	8
進路・資格取得状況、寮と下宿の管理人さんからのメッセージ	9
卒業生代表と在校生代表からのメッセージ	10

天売高校の年間行事



▲入学式
天売高校には制服がないので、スーツでピシッと決めています。

ウミネコの親子▶
黒崎海岸では子育てをする沢山のウミネコを見ることができます。



▲島民大運動会
保育園・小中学校・高校・島民の方々が一緒に行う大運動会。写真は島民の団長を先頭に元気よく入場行進をしているところ。

ロンババの浜の生き物▶
浜ではカニやイモトマキヒトデ、ヤドリ、ウニなどを観察することができます。
※ロンババの浜とは：海水浴場。磯なので様々な生き物の観察もできる。



▲水産実習（ウニの缶詰め）
写真はウニの身を殻から取り出しているところ。見ていると簡単そうに見えるけれど、綺麗に取り出すのはちょっと難しい。
詳しくは6ページへ！

ノブドウ▶
紫色や水色、緑色の実がなる。9月ごろから天売島でも観察できる。

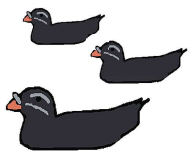
- 4月
- ・入学式
- ・対面式
- ・島内清掃天売クリーン作戦
- ・体協バドミントン教室

まだまだ寒いよ



- 5月
- ・水産実習（赤ガレイ燻製）
- ・定通体連地区大会

ウツウの帰郷を見る！



- 6月
- ・島民大運動会
- ・定通体連全道大会
- ・花植えボランティア
- ・前期中間考査

ロンババで海に潜る！



- 7月
- ・天高祭
- ・芸術鑑賞（羽幌）
- ・生活体験発表校内選考会

夏季休業

- 8月
- ・水産実習（ウニの缶詰め）
- ・オープンスクール
- ・体協ソフトボール大会
- ・前期期末考査

釣りをする



- 9月
- ・遠足
- ・見学旅行（2年生）
- ・大学見学（1年生）

少人数だからこそ、全ての行事で主役になることができ、感動を共有できます。天売高校には、そのような学校生活を彩る多種多様な行事があります。



▲水産実習（赤ガレイ燻製）
テングにかけるため、赤ガレイに紐を通していているところ。
詳しくは6ページへ！

▲普知島（ウツウ）
この時期、赤岩展望台では帰郷する沢山の普知島（ウツウ）を見ることができる。



▲天高祭
生徒が企画から運営まで自主的に行う天売高校の学校祭。1日目は屋台が開かれ、2日目はカラオケ、和太鼓、天高ソーランなどが披露されます。学校関係者だけでなく島民もカラオケや楽器演奏などで参加する島の一大イベント。

▲エゾメバル
天売港で釣りをする沢山の釣れる。



▲大学見学
昨年度は、キャリア教育の一環として、1年生が旭川市立大学に行きました。



▲離島
卒業生が離島する際の写真（フェリーに乗船しています）。色とりどりの紙テープでお見送り。



▲予餞会
1・2年生が企画して行われる、3年生を見送る会。学校はもちろん、寝食も共にし、ときには職場も一緒だった先輩と後輩。感慨深く泣いてしまうことも。

天売高校の冬季休業▶
北海道の冬休みは長い！
冬休みはみな島を離れて帰省します。



▲天売学「巣箱づくり」
本校独自の学校設定教科である天売学。天売の産業、自然、観光、伝統文化、未来について学びます。写真はシマフクロウの巣箱を作っているところ。

天売島の初雪▶
天売の初雪は例年11月の中旬から下旬に降ります。



▲球技大会
2024年の種目はバスケットボール。生徒チームと教員チームのエキシビジョンマッチもあります。

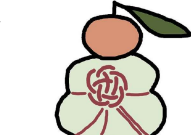
- MARCH
- 3月
- ・卒業証書授与式



▲卒業式
先生方や在校生、親御さんはもちろん、島の人にも送り出してもらえ卒業式。入学式同様、スーツで臨みます。
3年間、厳しい環境でよく頑張りました。卒業おめでとう。

▲かまくら
冷え込みの厳しい2月。たくさんある雪で、かまくらや雪だるまを作ってみよう！

- FEBRUARY
- 2月
- ・予餞会



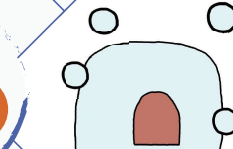
- DECEMBER
- 12月
- ・天売学「天売の未来」校内発表



- OCTOBER
- 10月
- ・水産実習（スモークサーモン／タコの燻製）
- ・天売学「天売の未来」
- ・水産クラブ校内発表
- ・球技大会



- MARCH
- 3月
- ・卒業証書授与式



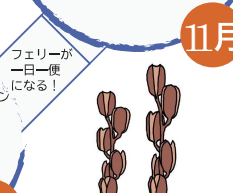
- JANUARY
- 1月
- ・体協ソフトバレー大会



▲体協ソフトバレー大会
島の人も参加して、ソフトバレー大会が行われます。高校生徒、高校教員、小中教員、島民チームで白熱したゲームが展開されます。

▲冬になると時化（海が荒れること）の日が多くなるので、欠航の日が増えます（通年、時化のときはフェリーが欠航します）。
島を離れるとき（戻るとき）は、天気予報の確認を忘れずに。

- NOVEMBER
- 11月
- ・全道水産クラブ発表大会
- ・天売学「天売の未来」
- ・体協バドミントン大会



▲オオウバユリの実
この時期天売島のフットバスを歩くと、他にもマムシグサの赤い実や松ぼっくり、どんぐりなど様々な実を観察することができます。

天売高校は夜間定時制の学校ですが、在校生全員が3年で卒業できる3修コースを選択し、進路実現に向け日々努力しています。大学受験や資格取得に向けて、始業前や放課後に講習を受ける「学力UPプロジェクト」という取組もあります。

3修コース 1日5時間授業・3年間で卒業

3年間の卒業が可能であり、進学のために必要な普通科目や資格取得のための商業科目が充実しています。大学・短大・専門学校・高等看護学校・就職などの様々な進路実現が可能です。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
一年次		現代の 国語	言語 文化	地理総合	数学Ⅰ			科学と 人間生活			体育			保健		英語 コミュニ ケーションⅠ			家庭 総合		情報Ⅰ		水産 海洋基礎	天 亮 学	総 探	L H R
二年次		文学 国語	公共	数学Ⅱ	数学A			生物 基礎			体育			保健		書道	英語 コミュニ ケーションⅡ	論理・ 表現Ⅰ		家庭 総合		情報 処理	水産 海洋基礎	天 亮 学	総 探	L H R
三年次		文学国語	歴史総合		数学Ⅱ			体育			書道		英語 コミュニ ケーションⅡ		情報 処理	国語探究		政治・経済		化学		水産 海洋基礎	天 亮 学	総 探	L H R	
																	国語探究	政治・経済		化学						
																	数学研究	フード デザイン		論理・表現Ⅱ						
																	ネットワーク 活用	簿記		課題研究						

天高生の主な一日



4修コース 1日4時間授業・4年間で卒業

4年間で卒業する一般的な定時制と同じコースです。ゆとりをもって学習することができ、専門学校や短期大学、就職、家業後継などの進路実現が可能です。

特色ある教育活動

天売高校では、天売島の基幹産業が水産業であるという地域の特性を生かし、普通科でありながら水産科目を設置しています。また、平成 26 年度より、「郷土を知り、郷土を愛する心の育成」をスローガンにし、土曜授業として郷土学習「天売学」を実施しています。

水産実習

水産実習は海産物の製造に携わることで水産物の高度利用や加工の必要性、資源保護の重要性を学ぶことが出来る授業です。1年を通して、カレイ燻製・ウニ缶詰・タコ燻製・スモークサーモンと、年間4種類の水産実習を実施しています。



郷土学習「天壳学」

郷土学習「天売学」では、産業・自然・観光・伝統文化・未来について学んでいます。地域の民間講師による講義やフィールドワークを通じて学んだことを生かし、生徒自ら天売島の地域おこしのためのアイデアを考え島民の方々に発表しています。



クラブ活動

天売高校には伝統あるバドミントン部があります。令和7年度から野球部、家庭部、ESSが新設されます。仕事と学業を両立しながら、放課後や休日に活動しています。



【令和4年度】

地区大会 女子個人 1位・2位・3位
女子団体 優勝
男子団体 準優勝

【令和5年度】

地区大会 男子個人 2位・3位
女子個人 2位・3位
男子団体 全道大会出場

全道大会 女子個人 ベスト8

【令和6年度】

地区大会 女子個人 1位・2位
全道大会 女子個人 ベスト8



BADMINTON

発表大会・ボランティア

天売高校では、水産業をテーマとした研究を発表する「水産クラブ研究発表大会」、定時制高校生として経験したことを発表する「定時制通信制生徒生活体験発表大会」に参加しています。また、全校生徒で行うボランティア活動を通して地域貢献をしています。

水産クラブ研究発表大会

地域の自然や水産業をテーマにした課題研究を行っており、研究結果を水産クラブ研究発表大会にて発表しています。



令和4年度「プロジェクト天売～稚魚の放流でアワビを救う～」
努力賞

令和5年度「天売島で採れる低利用魚の活用法」努力賞

令和6年度「天売島で採れる低利用魚の活用法2」努力賞

生活体験発表大会

全国にある定時制通信制高等学校に通う生徒たちが高校生活で感じ、学んだ貴重な体験を発表する大会に本校も参加しています。



令和4年度 地区大会 優秀賞

令和5年度 地区大会 優秀賞

令和6年度 地区大会 最優秀賞

ボランティア活動

ボランティア活動を積極的に行っており、地域の様々な活動に貢献しています。島内の環境美化活動や、島民が参加する天売体育協会主催の大会運営補助などの活動を行っています。



・体協主催大会運営補助
・島内一周清掃
・プランター設置

進路・資格取得状況

天売高校の生徒たちは働きながら学校に通う生活をしながらも、自己実現のために日々励んでいます。少人数教育ならではの手厚いサポートを活かし、令和元年度には本校初の国立大学合格を果たしました。

進路状況（過去10年）

国公立大学

- ・小樽商科大学

私立大学

- ・東洋大学
- ・姫路大学
- ・北翔大学
- ・北海学園大学
- ・東京農業大学
- ・京都精華大学
- ・立命館アジア太平洋大学
- ・桜美林大学
- ・星槎道都大学

短大

- ・北翔大学短期大学部

専門学校

- ・札幌デザイナー学院
- ・札幌医療秘書福祉専門学校
- ・札幌リゾート＆スポーツ専門学校
- ・経専音楽放送芸術専門学校
- ・札幌商工会議所付属専門学校
- ・HAL東京
- ・旭川医師会看護専門学校
- ・旭川情報ビジネス専門学校
- ・光塩学園調理製菓専門学校
- ・北海道立北の森づくり専門学院
- ・神田外語学院
- ・札幌科学技術専門学校

就職

- ・就業に従事
- ・加藤塗建株式会社
- ・玉城農園
- ・羽幌町役場
- ・（有）奈良水産
- ・吉田漁業部

資格取得状況（過去10年）

- ニュース時事能力検定 3級
- 実用英語技能検定 4級・3級・準2級・2級
- 実用数学技能検定 準2級
- 小型船舶操縦士免許 1級・2級
- 全商ビジネス文書実務検定 3級・2級・1級
- 全商珠算・電卓実務検定 3級・2級・1級
- 全商簿記実務検定 3級
- 全商情報処理検定 3級・2級・1級
- 日本漢字能力検定 4級・3級



メッセージ～入学を考えている方へ～

寮と下宿の管理人さんからのメッセージ

寮の管理人さんより

学生寮は元は土木関係の宿舎でしたが、羽幌町が買い上げて一部改修して6年前に高校学生寮としてスタートいたしました。天売高校は、夜間定時制につき日中は皆さん仕事をして夕方登校し勉強となります。仕事は、漁師の手伝い、フェリーの駅、郵便局等がありますが、日中働いて夜学校というのは決して簡単なことではありません。特に漁師の仕事は、早い時には朝5時から仕事なので、眠い目をこすりながら仕事に向かうことになります。楽しいことは、釣り好きな人にはパラダイスです。夏場は、歩いて1分で海水浴ができます。早入人は、4月から海に入っています。自然がいっぱいの生活を満喫できます。お待ちしておりますよ。

下宿の管理人さんより

仕事と勉学の両立はそばで見ていた私たちも大変なことだと実感しています。もちろん楽しいこともたくさんあります。友達と釣りをしたり、綺麗な海で泳いだり…。そして島民の方々や職場の方々とのふれあいが自分の成長へとつながっていくと思います。寮と下宿は自然の真ただ中にあり、意の下には見渡す限りのオーシャン・ビューが広がっています。その自然の中で、自分の夢を探してみませんか。あるいは既に決まっている夢に向かって生活してみませんか。お待ちしております。

卒業生代表からのメッセージ



令和6年度卒業生
Y・Aさん

皆さんこんにちは！皆さんは天売高校に入学するとどんなメリットがあると思いますか？私は高校生活、島生活でたくさんの新しい経験をしました。特に島民の方と話すときや年代も様々でとても楽しかったです。天売島での経験は、これからの人生で自分の武器になると思います。実際に私は、天売高校が定時制なので進学先での生活や勉強についていけるか心配ありましたが、天売島で得た他の人にはない経験で乗り越えていけるという自信に繋がっています。

「他の人とは違った経験をしてみたい！」
「もっと自分を高めたい！」
という方はぜひ天売高校をおすすめします！天売島でたくさんの経験をし、自分の武器を増やしませんか？！



令和6年度卒業生
M・Tくん

天売高校は天売島という離島に位置し、夜間定時制の全校生徒15人前後の小さな学校です。昼は島の産業に従事し、夜は学校に行く。家事も自分でやります。そして、親元から離れて寮や下宿で共同生活を送る人が大半だと思います。最初は仕事が見られるのか。寮や下宿、学校や職場で上手く馴染めるのか。不安は尽きないと思いますし、もしかししたら、自分の想像していた高校生活とは違って、ギャップを感じる時もあるかもしれません。だからそんな時には「なぜ天売島にある高校の中から天売高校を選んだのか？」という疑問の答えを大切にしたいです。そして、その答えは人に与えられたものではなく、皆さん自分自身の想いがこもった答えを持っていて欲しいです。それは天売高校に入学してから見つけても構いません。その想いは、もし皆さんが天売高校に来てから挫折そうになった時の支えになると思います。その強い想いを持って天売高校で一生懸命頑張る皆さんを、学校の先生たちは勿論、先輩たち、島民の方々、絶対に全力でサポートしてくれま。最後に、一つ一つの出来事や思い出を糧にして成長した皆さんが、私たちと同じ学び舎を卒業する事を心待ちにしています。

在校生代表からのメッセージ



3年生
S・Fくん

この高校は少人数というところから、とても先生と生徒の距離が近く、先生は教育熱心。生徒はやる気があります。授業範囲外の勉強をしたかったら担当の先生に言えば授業開始前に講習を受けることもできます。天売島は海や自然に囲まれているので充実した学生生活を送れると思いますよ。最後に、人生において高校の三年間というものは学校生活や日常生活とともに記憶に残りやすく、また、自身の将来を決めることになる大きなターニングポイントです。皆さんの進路選択が人生を振り回ったときに、納得のいくものであることを心から願っています。



3年生
T・Nくん

天売高校に来て2年が経って天売島での生活にもだいぶ慣れました。入学する前は、離島の定時制高校というのがあるって、勉強の面や生活の面が上手くいくのか心配でした。しかし、思っていたよりも離島での生活は不便では無いし、勉強の面では、各教科の講習もたくさん実施されています。各種の検定を受験する機会もあります。講習の申し込みをすれば、先生方が親身になってサポートしてくれるので、心配する必要はありません！不安なことやわからないことがあれば先生方や先輩たちを頼ってください！天売高校で待ってます！



3年生
K・Hくん

これまで僕が、天売島で過ごして思ったことは、生活に慣れていても大変なことがたくさんあるということです。天売高校は夜間定時制で、昼は仕事、夜は学校に行くというハードな生活をします。1年生の頃はこの生活に慣れるのに一杯で、2年生になってやっと慣れてきたと思ったら後輩ができて、学校行事なども任せてもらうことが多くなりました。色々大変なこともありますが、それ以上に成長したことも多くありました。最初は緊張して島の人と話すことができませんでした。今は名前を覚えてたくさん話せるようになりました。仕事や学校生活を通して日々成長し続けられるのがこの高校に入る最大のメリットだと感じています。自分を変えたい人、入学を待っています！



2年生
S・Mさん

朝は働き、昼過ぎから学校。帰る頃には外は真っ暗。とても厳しい生活ですが、離島にある定時制高校の良さを知りました。第1に島民の方々がとても親身に接してくれることです。疲れて元気がない時でも、気軽に声援をくれる優しさがあります。第2に、午前中は働いてから学校に来るので、寛裕した状態で勉強に打ち込めることです。ダラダラと学習に取り組むのではなく、短時間に集中して勉強することで、頭も入りやすい！第3に、都会と違って星空がとてもきれいに見える。夜空を見上げると、無数の星々たち。疲れる一瞬に吹く風が爽やかです。まだまだ良さがありますが、ここでは書ききれません。続きは、天売高校に入塾して私たちと素敵な高校生活を送っていくと見てくださ。一緒に頑張らしよう！



2年生
S・Gくん

天売に来て一年が経ちましたが、勉強、仕事、部活の三つをやるのは今でも大変です。大変なのは覚悟していましたが、来てみてから自分の怠惰さに気づく毎日、来た当初は、ストレスや疲れから体調を崩してしまうことがしばしばありました。それでも、一年間頑張れたのは、ほかの学校にはない天売高校ならではの特色があったからだと思います。例えば学校祭。何か月もかけて、いろいろな準備をして学校祭で出し切ったとき、見に来てくれた島民の方々の温かい対応を見ることができました。本当に頑張ってきたんだと思います。ほかにも運動会や、体育協会のスポーツ大会でも、島民の方々と触れ合いが多く毎日がとても楽しいと思います。皆さんぜひ来てみてください。



2年生
Y・Aくん

僕はこの高校に入る決めてから、実際に入学するまではたくさんの不安や悩みがありました。仕事と学校の両立という厳しい生活に慣れることができるのか。親から離れて暮らすことが今の自分にできるのか。この島に来る日まで、不安で毎日悩みながら過ごしていました。実際、仕事と学校の両立は本当に大変でした。朝から働いて、仕事が終わったらすぐに学校へ行くという生活は、中学校以上に疲れがたまるので授業中も眠くなります。最初は眠気と疲れと闘いながら授業を受けることを覚悟してください。でも、1ヶ月くらい経つと不思議と慣れてきました。大変なのは本当は最初だけなので、心配はいりません。この一年間で、すごく成長したと思います。学習面はもちろんですが、自分から発言したり行動したりすることもできるようになりました。みなさん、天売高校と一緒に頑張らしよう！